

一括請求 Assist[®] Ver.3

操作マニュアル

連携編(商奉行)

第 3.4 版

目次

はじめに.....	2
1 連携の概要.....	3
1.1 連携の概要.....	3
1.2 連携条件について.....	4
1.3 連携の流れ.....	8
1.4 使用フォーマットについて.....	9
2 連携事前設定.....	10
2.1 「商奉行」の事前設定.....	10
2.1.1 得意先を確認する.....	10
2.1.2 摘要を確認する.....	15
2.2 本ソフトの事前設定.....	17
2.2.1 通知確認設定情報を設定する.....	17
2.2.2 取引先を設定する.....	18
2.2.3 出力 CSV 設定を設定する.....	20
3 連携手順.....	23
3.1 連携手順.....	23
3.1.1 通知ファイルを読み込む.....	23
3.1.2 通知情報を確認する.....	27
3.1.3 入金伝票を作成する.....	29

はじめに

本書では、本ソフトと株式会社オービック ビジネスコンサルタントの販売管理ソフト「商奉行」との連携について、事前設定、連携手順を説明します。

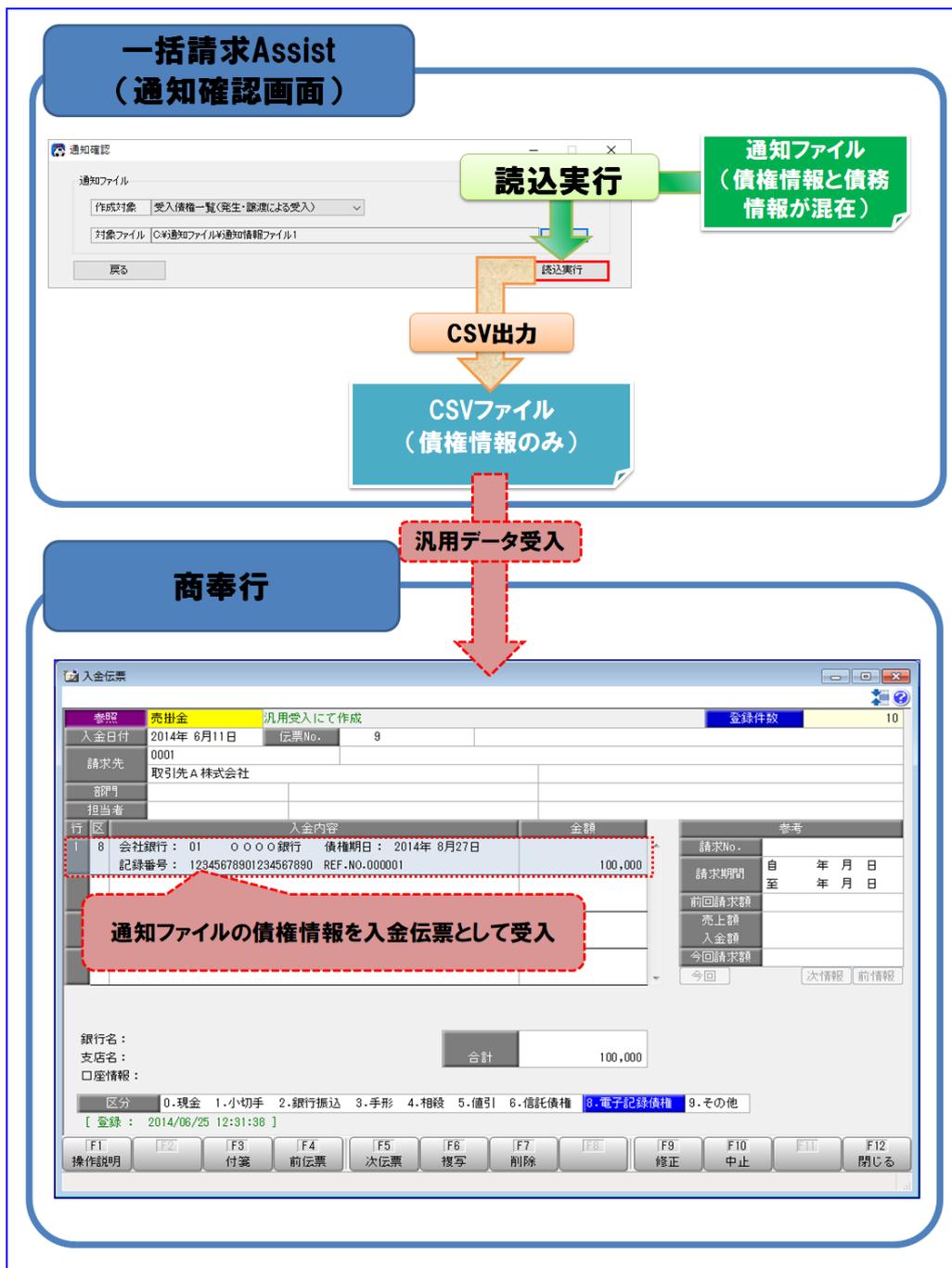
本書で使用する画面例については「商奉行 i8」のものとなります。会計ソフトのバージョンにより表示内容が異なる場合がありますが、操作方法に差異はありません。

本書に記載されていない「商奉行」のその他機能の詳細については、「商奉行」の操作説明をご参照ください。

1 連携の概要

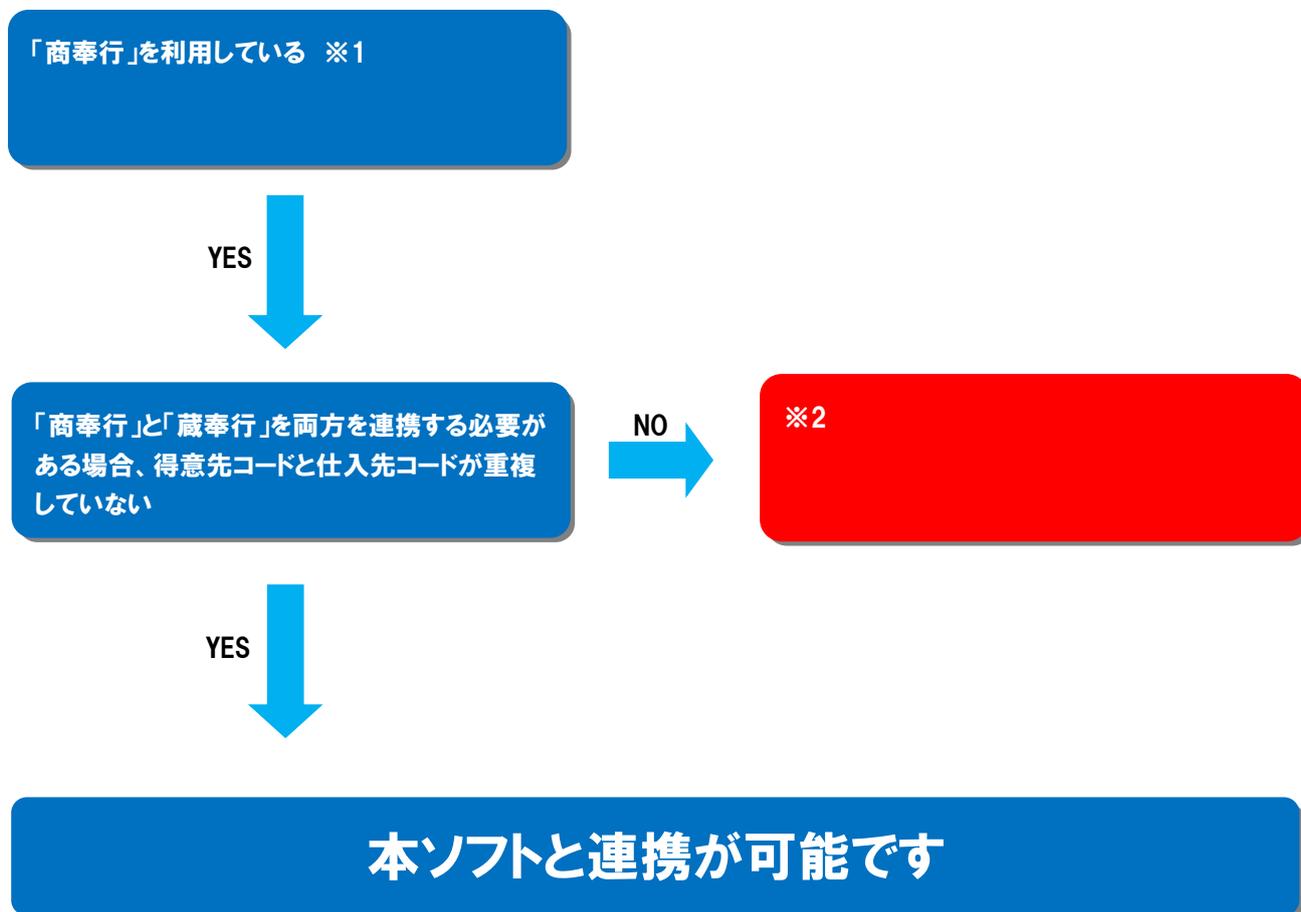
1.1 連携の概要

本ソフトは、電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイル（でんさいネット標準フォーマット（固定長テキスト形式）1.2版の配信1）を読み込み、電子記録債権の債務情報を省いた債権情報 CSV ファイル（受入債権一覧）を出力することができます。出力した債権情報 CSV ファイルを「商奉行」に読み込むことにより、簡単に入金伝票を作成することができます。



1.2 連携条件について

本ソフトと連携が可能となる条件は下記の通りとなります。



※1 連携可能な商奉行のバージョンについては、株式会社NTT データフロンティアのホームページをご参照ください。

※2「商奉行」と「蔵奉行」では、管理している「得意先コード」と「仕入先コード」を別管理しているため、それぞれに同一のコード値を設定することができますが、本ソフト上の「取引先管理画面」に設定する連携用の「取引先 ID」については、共通の設定になります。

そのため、「商奉行」と「蔵奉行」で管理している「得意先コード」と「仕入先コード」の値が重複しないように設定をする（桁数、コード値が異なる）必要があります。

※コード値が重複している場合についても、「商奉行」と「蔵奉行」のいずれかのコード値のみ本ソフトに登録することで、いずれかのソフトのみとの連携は可能です。

※例として「得意先コード：0001」「仕入先コード：00001」は本ソフトでは重複しないで設定可能です。そのため、「商奉行」「蔵奉行」のコード桁数設定で「得意先コード」と「仕入先コード」に異なる桁数を設定できる場合は「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフトと連携可能になります。

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先情報	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	取引先ID
1	0000	001	2: 当座	1111111	0001
2	0000	001	2: 当座	2222222	0002
3	0000	001	2: 当座	3333333	0003
4	0000	001	2: 当座	4444444	0004

商奉行 得意先登録画面

得意先検索

検索条件: 得意先名1 が を含む

無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる

1~2件目を表示

得意先コード	得意先略称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先 A 株式会社	取引先 A 株式会社	
0002	取引先 B 株式会社	取引先 B 株式会社	

蔵奉行 仕入先登録画面

仕入先検索

検索条件: 仕入先名1 が を含む

無効な仕入先を含める 仕入先コード順で並べる

1~2件目を表示

仕入先コード	仕入先略称	仕入先名1	仕入先名2
0003	仕入先 A 株式会社	仕入先 A 株式会社	
0004	仕入先 B 株式会社	仕入先 B 株式会社	

「商奉行」の「得意先コード」と「蔵奉行」の仕入先コードでコード値が重複しないように設定が必要

「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフト連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードが同一桁数
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複なし

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

取引先種別	全額振込コード	支店コード	口座種別	口座番号	得意先名
1	0000	001	2:当座	1111111	0001
2	0000	001	2:当座	2222222	0002
3	0000	001	2:当座	3333333	0003
4	0000	001	2:当座	4444444	0004

商奉行
 得意先登録画面

得意先コード	得意先名称	得意先名1	得意先名2
0001	株式会社A	株式会社A	
0002	株式会社B	株式会社B	

得意先コード:0001, 0002

両ソフトの連携が可能

蔵奉行
 仕入先登録画面

仕入先コード	仕入先名称	仕入先名1	仕入先名2
0003	株式会社A	株式会社A	
0004	株式会社B	株式会社B	

仕入先コード:0003, 0004

「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフト連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードの桁数が異なる
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複あり

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

取引先種別	全額振込コード	支店コード	口座種別	口座番号	得意先名
1	0000	001	2:当座	1111111	0001
2	0000	001	2:当座	2222222	0002
3	0000	001	2:当座	3333333	0003
4	0000	001	2:当座	4444444	0004

商奉行
 得意先登録画面

得意先コード	得意先名称	得意先名1	得意先名2
0001	株式会社A	株式会社A	
0002	株式会社B	株式会社B	

得意先コード:0001, 0002

両ソフトの連携が可能

蔵奉行
 仕入先登録画面

仕入先コード	仕入先名称	仕入先名1	仕入先名2
00001	株式会社A	株式会社A	
00002	株式会社B	株式会社B	

仕入先コード:00001, 00002

「商奉行」と「蔵奉行」の両ソフト連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードの桁数が異なる
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複なし

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

取引先種別	金庫特約コード*	得意先コード*	口座種別*	口座番号*	取引先名
1	0000	001	2:当座	1111111	0001
2	0000	001	2:当座	2222222	0002
3	0000	001	2:当座	3333333	0003
4	0000	001	2:当座	4444444	0004

商奉行
 得意先登録画面

得意先コード	得意先略称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社	

得意先コード:0001、0002

蔵奉行
 仕入先登録画面

仕入先コード	仕入先略称	仕入先名1	仕入先名2
0003	仕入先A株式会社	仕入先A株式会社	
0004	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	

仕入先コード:0003、0004

両ソフトの連携が可能

「商奉行」と「蔵奉行」のいずれかのみ連携可能例：
 ・得意先コードと仕入先コードが同一桁数
 ・得意先コードと仕入先コードのコード値に重複あり

一括請求Assist
 (取引先管理画面)

取引先種別	金庫特約コード*	得意先コード*	口座種別*	口座番号*	取引先名
1	0000	0001	2:当座	1111111	0001
2	0000	0002	2:当座	2222222	0002
3	0000	0001	2:当座	3333333	0001
4	0000	0002	2:当座	4444444	0002

得意先コードと仕入先コードの桁数・
 コード値が同一であるため、「商奉行」と
 「蔵奉行」のいずれかのみ連携可能

商奉行
 得意先登録画面

得意先コード	得意先略称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社	

得意先コード:0001、0002

蔵奉行
 仕入先登録画面

仕入先コード	仕入先略称	仕入先名1	仕入先名2
0001	仕入先A株式会社	仕入先A株式会社	
0002	仕入先B株式会社	仕入先B株式会社	

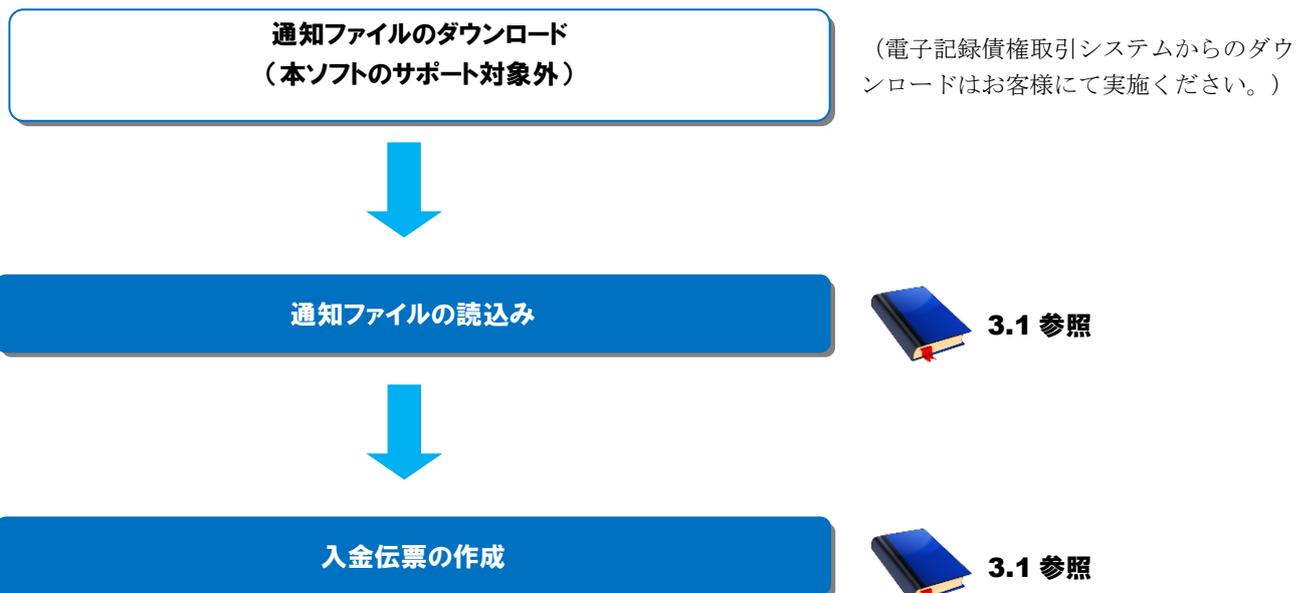
仕入先コード:0001、0002

1.3 連携の流れ

事前設定



連携手順



1.4 使用フォーマットについて

「商奉行」との連携で使用するフォーマットについて説明します。

「商奉行」の利用状況に応じて、下記使用フォーマットから適切なものを選択してください。以降の設定については、選択した使用フォーマットに沿って実施してください。

条件1 ※1	選択する使用フォーマット
「商奉行」の入金伝票画面の「摘要」を <u>使用している</u> 場合	連携用_商奉行 (OBC) _N
「商奉行」の入金伝票画面の「摘要」を <u>使用していない</u> 場合	連携用_商奉行 (OBC) _Y

※1：詳細は「**2.1.2 摘要を確認する**」をご参照ください。

2 連携事前設定

2.1 「商奉行」の事前設定

連携を行うための「商奉行」の事前設定方法を説明します。

操作手順

2.1.1
得意先を確認する

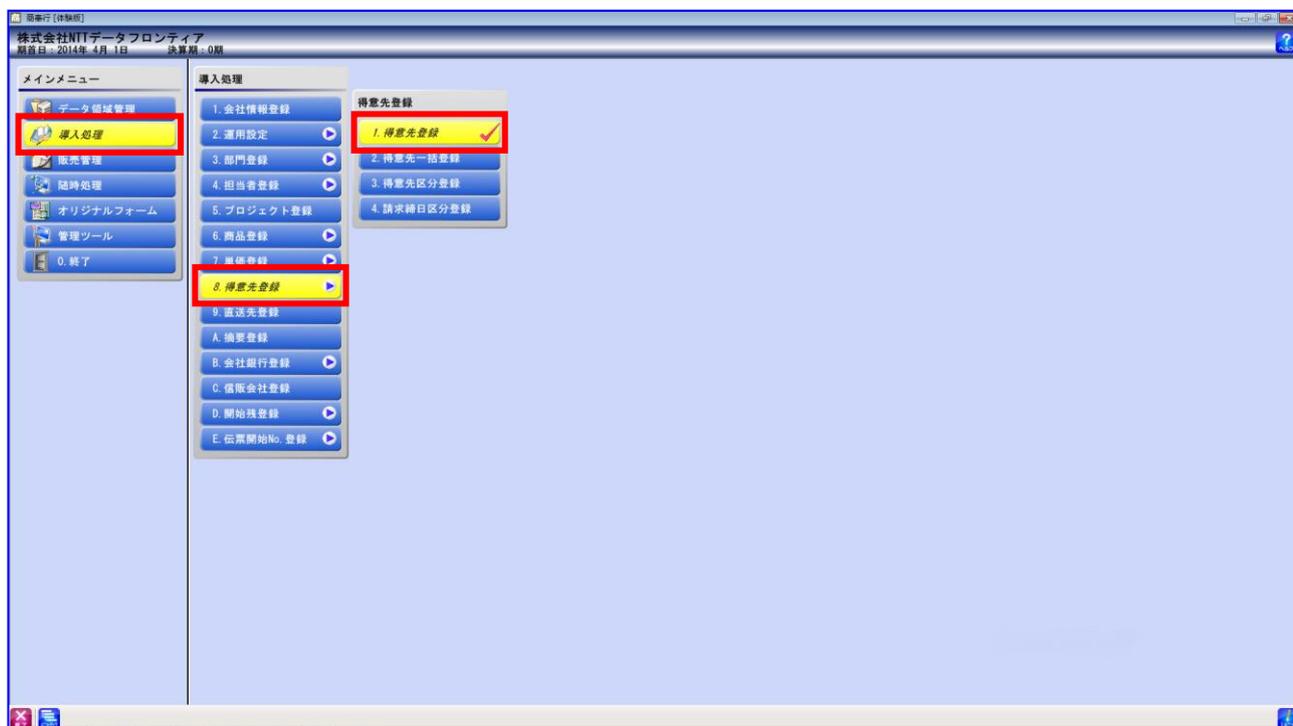
2.1.2
摘要を確認する

操作方法

2.1.1 得意先を確認する

連携で使用する得意先が登録されているか確認します。

「商奉行」を開き、[導入処理]>[得意先登録]>[得意先登録]を押下します。



「得意先コード」の[検索]を押下します。

得意先登録

得意先コード

得意先名フリガナ

得意先名 1

得意先名 2

得意先略称

登録件数 3

基本 属性 販売 請求 回収 振込 統一伝票 メモ

利用状態

台帳インデックス

郵便番号

住所 1

住所 2

電話番号 FAX番号

ホームページ

担当者名

担当者部署名

担当者役職名

担当者電話番号 担当者携帯番号

担当者FAX番号

担当者E-Mail

敬称

操作ガイド

得意先コード

【参考】

- コードは、数字、英大文字、英小文字、カナの順に並びます。
- コード桁数は、[コード桁数/項目名称設定]メニューで変更できます。
- 前ゼロを自動表示するかを、[会社機能設定]メニューで設定できます。

・英数カナ4～13桁
・検索⇒[Space]キー

F1 操作説明 F2 印刷 F3 短縮設定 F4 F5 次データ F6 複写 F7 削除 F8 検索 F9 初期値 F10 設定 F11 F12 閉じる

-
- 「即時検索しない」を選択し、[検索]を押下します。

得意先検索

検索条件

得意先名1 が [] を含む

無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる

検索(S)

詳細設定(I)>>

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 操作説明(H)

- 得意先に対応するレコードを選択し、[OK]を押下します。
存在しない場合は、任意のコードで新規作成します。
(新規作成方法については「商奉行」の操作説明をご参照ください。)

得意先検索

検索条件

得意先名1 が を含む

無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる

検索(S) 詳細設定(I)>>

1~2件目を表示

得意先コード	得意先略称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式会社	取引先A株式会社	
0002	取引先B株式会社	取引先B株式会社	

即時検索しない

前の結果(P) 次の結果(N) **OK** キャンセル 操作説明(H)



電子記録債権を受け入れる対象の得意先をすべて登録しておく必要があります。
得意先が増減した場合は、都度修正ください。
また、電子記録債権以外で受け入れる得意先が登録されていても問題ありません。



登録した「得意先コード」「得意先名1」は、「**2.2.2 取引先を設定する**」にて、本ソフト用の事前設定として使用するため、値をお控えください。

- 得意先の[振込]に、会社銀行が設定されていることを確認します。

修正

得意先コード	0001
得意先フリガナ	トクイキョウブシカイシャ
得意先名1	得意先A株式会社
得意先名2	
得意先略称	得意先A株式会社

登録件数
4

基本 属性 販売 請求 回収 振込 統一伝票 メモ 相殺

会社銀行 01 〇〇〇〇〇銀行

口座番号

振込依頼人名1	
振込依頼人名2	
振込依頼人名3	
振込依頼人名4	
振込依頼人名5	
振込依頼人名6	
振込依頼人名7	
振込依頼人名8	
振込依頼人名9	
振込依頼人名10	

操作ガイド

得意先名1

見積書・納品書・請求書・注文書・宛名ラベル・送り状に印字する、得意先の正式名称を入力します。

【参考】

- 得意先名1を入力すると、自動的に得意先フリガナが表示されます。
- 得意先略称にも自動的に同じ名称が表示されます。

32文字

F1 操作説明 F2 F3 F4 前画面 F5 次画面 F6 F7 F8 F9 F10 中止 F11 F12 登録



電子記録債権を受け入れる対象の得意先が複数存在する場合、すべての得意先について確認してください。

2.1.2 摘要を確認する

入金伝票画面「摘要」の使用用途を確認します。

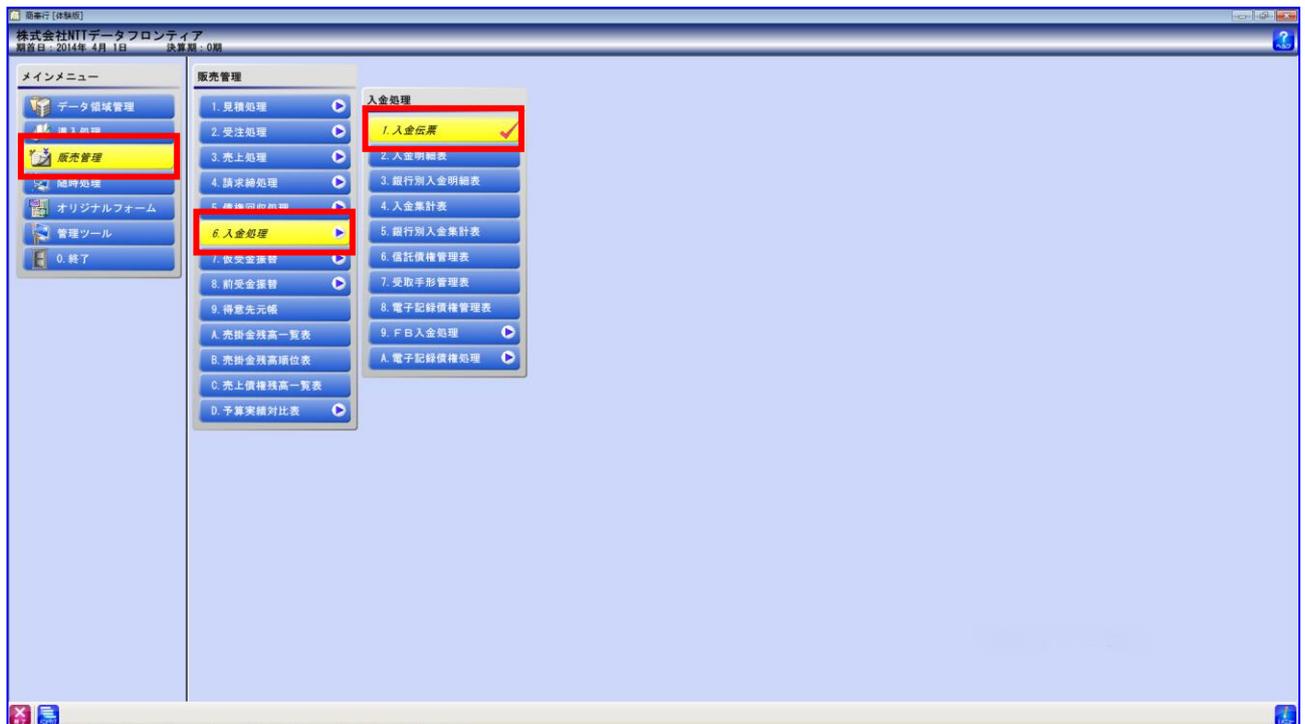
「摘要」を既存の用途（メモ欄等）で使用していない場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref.No.」を入金伝票画面の「摘要」に連携する設定を選択します。

【対象の使用フォーマット：連携用_商奉行（OBC）_Y】

「摘要」を既存の用途（メモ欄等）で使用している場合、通知ファイルに設定される「依頼人 Ref.No.」を入金伝票画面に連携しない設定を選択します。

【対象の使用フォーマット：連携用_商奉行（OBC）_N】

☚ [販売管理] > [入金処理] > [入金伝票]を押下します。



- 入金伝票画面の既存伝票を表示し、「摘要」を使用しているか確認します。「摘要」の使用用途を確認の上、使用フォーマットを選択ください。

入金伝票

参照 **売掛金** 登録件数 8

入金日付 2014年 6月25日 伝票No. 5

請求先 0001
取引先A 株式会社

部門
担当者

行	区	入金内容	金額
1	8	会社銀行： 01 ○○○○銀行 債権期日： 2014年 6月27日 記録番号： 12345678901234567890 REF.NO.000001	100,000

銀行名：
支店名：
口座情報：

合計 100,000

区分 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手形 4.相殺 5.値引 6.信託債権 **8.電子記録債権** 9.その他

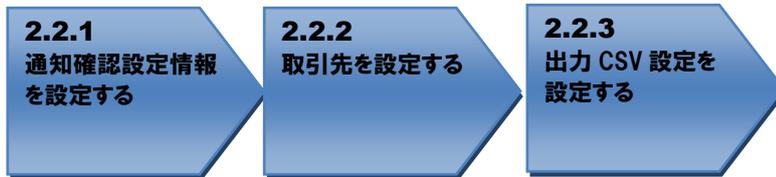
[登録： 2014/06/25 11:19:05]

[F1] 操作説明 [F2] [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

2.2 本ソフトの事前設定

連携を行うための本ソフトの事前設定方法を説明します。

操作手順



操作方法

2.2.1 通知確認設定情報を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、通知確認設定情報の予約通知を「出力しない」に設定し、[保存]を押下します。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

議渡記録設定情報

保証連伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額議渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル 出力しない

一括請求結果ファイル 出力しない

通知ファイル 出力しない

2.2.2 取引先を設定する

- 本ソフトの取引先管理画面を開き、「2.1.1 得意先を確認する」で登録した得意先が登録されていることを確認します。登録されていない場合は新規に登録します。

	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	
1	取引先 A 株式会社	0000	001	2: 当座	1111111	0001
▶ 2	取引先 B 株式会社	0000	001	2: 当座	2222222	0002



本ソフトの[CSV 読込]を用いて「商奉行」の取引先情報を読込むことはできません。

- 取引先 ID に得意先登録画面のコードを登録します。

商奉行 得意先登録画面

得意先検索

検索条件
得意先名1 が 取引先A株式会社 を含む
 無効な得意先を含める 得意先コード順で並べる
検索(S) 詳細設定(I)>>

1~2件目を表示

得意先コード	得意先略称	得意先名1	得意先名2
0001	取引先A株式		
0002	取引先B株式		

前の結果(P) 次の結果(N) OK キャンセル 印刷 作業説明(H)

電子記録債権を受け入れる
対象の得意先

一括請求Assist (取引先管理画面)

取引先管理

CSV読込 CSV出力 CSV読込(任意フォーマット)

取引先情報

	取引先名*	金融機関コード*	支店コード*	口座種別*	口座番号*	
1	取引先A株式会社	0000	001	2:当座	11111111	0001
2	取引先B株式会社	0000	001	2:当座	22222222	0002

更新

電子記録債権を受け入れる
対象の得意先を全て登録する



本ソフトへの登録時には、コピー＆ペーストをするなどし、「商奉行」の設定値と完全に一致させてください。

2.2.3 出力 CSV 設定を設定する

- 本ソフトのシステム設定画面を開き、出力 CSV 設定の使用フォーマットを選択し、[保存]を押下します。選択するフォーマットは「1.4 使用フォーマットについて」をご参照ください。

システム設定

共通設定情報

請求者利用者番号 通常利用時 事務代行等での利用時
利用者番号

ファイル出力先

口座種別区分 別段を利用する 別段を利用しない

一括請求ファイル拡張子 付与する 付与しない

メニュー表示有無

発生記録(債権者)請求 表示する 表示しない

譲渡記録設定情報

保証随伴有無 選択可(保証有り/無し) 選択不可(保証有りのみ)

全額譲渡時の金額入力 入力する 入力しない

通知確認設定情報

予約通知 出力する 出力しない

読込CSV設定

使用フォーマット

出力CSV設定

使用フォーマット

一括請求ファイル

一括請求結果ファイル

通知ファイル

一括請求Assist標準
一括請求Assist標準
配信1
連携用 勘定奉行 (OBC) _SN
連携用 勘定奉行 (OBC) _SY
連携用 勘定奉行 (OBC) _BN
連携用 勘定奉行 (OBC) _BY
連携用 商奉行 (OBC) _N
連携用 商奉行 (OBC) _Y
連携用 PCA会計 (PCA)
連携用 弥生会計 (弥生)
連携用 FXシリーズ (TKC)

【参考】出力 CSV フォーマット詳細設定画面の初期設定値

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値) 連携用_商奉行(OBC)_N	項目番号(カッコ内は固定値の値) 連携用_商奉行(OBC)_Y
1	CSV 項目数	24	24
2	利用者 ID の自動設定有無		
3	利用者 ID の自動設定有無 (通知先情報)	自動設定しない	自動設定しない
4	利用者 ID の自動設定有無 (義務者情報、権利者情報)	自動設定する	自動設定する
5	タイトル行有無		
6	タイトル行有無	設定しない	設定しない
7	出力 CSV 項目設定		
8	データレコード項目		
9	作成対象区分	-	-
10	通知作成日	-	-
11	通知先情報_利用者番号	-	-
12	通知先情報_通知先名か	-	-
13	通知先情報_金融機関コード	-	-
14	通知先情報_金融機関名か	-	-
15	通知先情報_支店コード	-	-
16	通知先情報_支店名か	-	-
17	通知先情報_口座種別	-	-
18	通知先情報_口座番号	-	-
19	通知先情報_利用者 ID	-	-
20	合計件数 (件)	-	-
21	合計金額 (円)	-	-
22	データレコード区分	-	-
23	義務者情報_義務者名	-	-
24	義務者情報_金融機関コード	-	-
25	義務者情報_金融機関名か	-	-
26	義務者情報_支店コード	-	-
27	義務者情報_支店名か	-	-
28	義務者情報_口座種別	-	-
29	義務者情報_口座番号	-	-
30	義務者情報_利用者 ID	5	5
31	権利者情報_権利者名	-	-
32	権利者情報_金融機関コード	-	-
33	権利者情報_金融機関名か	-	-
34	権利者情報_支店コード	-	-
35	権利者情報_支店名か	-	-
36	権利者情報_口座種別	-	-
37	権利者情報_口座番号	-	-
38	権利者情報_利用者 ID	-	-
39	債権金額 (円)	22	22
40	支払期日	18	18
41	譲渡制限有無	-	-
42	記録番号	19	19
43	依頼人 Ref. No.	-	12
44	電子記録年月日	3	3
45	取消区分	-	-

No	項目	項目番号(カッコ内は固定値の値) 連携用_商奉行(OBC)_N	項目番号(カッコ内は固定値の値) 連携用_商奉行(OBC)_Y
46	データレコード項目 (任意項目)		
47	伝票区切	1 (固定値：*)	1 (固定値：*)
48	入金区分	10 (固定値：8)	10 (固定値：8)

【参考】出力 CSV ファイルフォーマット

No	項目名	受入記号(※1)	出力内容(※2)	備考
1	伝票区切	OBCD001	固定値：*	
2	伝票区分	DSRM007	半角スペース 1 桁	
3	入金日付	DSRM001	通知ファイル. 電子記録年月日	
4	伝票 No.	DSRM002	半角スペース 6 桁	
5	請求先コード	DSRM003	通知ファイル. 義務者情報の 口座情報 (金融機関コード/支店コ ード/口座種別/口座番号) に一致 する取引先管理情報. 取引先 ID を自 動設定	
6	部門コード	DSRM004	半角スペース 1 桁	
7	担当者コード	DSRM005	半角スペース 4 桁	
8	プロジェクトコード	DSRM006	半角スペース 4 桁	
9	仕訳対象区分コード	DSRM008	半角スペース 1 桁	
10	入金区分	DSRM201	固定値：8	
11	申告書計算区分	DSRM203	半角スペース 2 桁	
12	明細摘要	DSRM204	① 半角スペース 40 桁 ② 通知ファイル. 依頼人 Ref. No.	① 連携用_商奉行 (OBC) _N 利用時 ② 連携用_商奉行 (OBC) _Y 利用時
13	手形期日	DSRM205	半角スペース 11 桁	
14	手形 No.	DSRM206	半角スペース 10 桁	
15	会社銀行コード	DSRM207	半角スペース 2 桁	
16	信販会社コード	DSRM210	半角スペース 4 桁	
17	回収期日	DSRM211	半角スペース 11 桁	
18	債権期日	DSRM215	通知ファイル. 支払期日	
19	記録番号	DSRM216	通知ファイル. 記録番号	
20	振込手数料	DSRM208	半角スペース 6 桁	
21	信販手数料	DSRM212	半角スペース 13 桁	
22	入金金額	DSRM209	通知ファイル. 債権金額	
23	付箋色	DSRM213	半角スペース 1 桁	
24	付箋メモ	DSRM214	半角スペース 400 桁	

※1 出力 CSV ファイルの 1 行目に受入記号が出力されます。

※2 出力 CSV ファイルの 2 行目以降に出力されます。

(CSV ファイルフォーマットの詳細については「商奉行」の操作説明をご参照ください。)

3 連携手順

3.1 連携手順

「商奉行」と本ソフトの連携手順を説明します。

操作手順

3.1.1
通知ファイルを読
込む
【本ソフト】

3.1.2
通知情報を
確認する
【本ソフト】

3.1.3
入金伝票を
作成する
【商奉行】

操作方法

3.1.1 通知ファイルを読み込む

本ソフトで電子記録債権取引システムからダウンロードした通知ファイルを読み込み、「商奉行」に読み込ませる債権情報 CSV ファイルを作成します。

- 本ソフトの通知確認画面を開き、作成対象に「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択します。

通知確認

通知ファイル

作成対象 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)

対象ファイル

参照

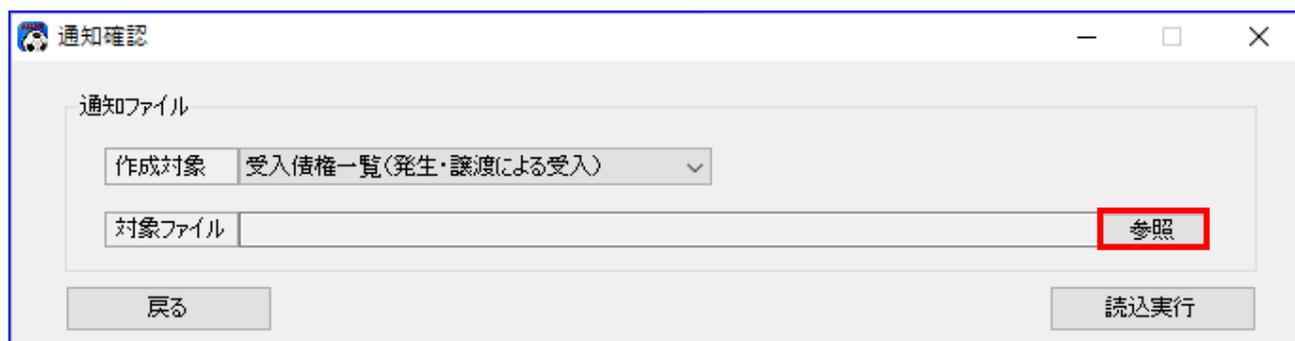
戻る

読み実行

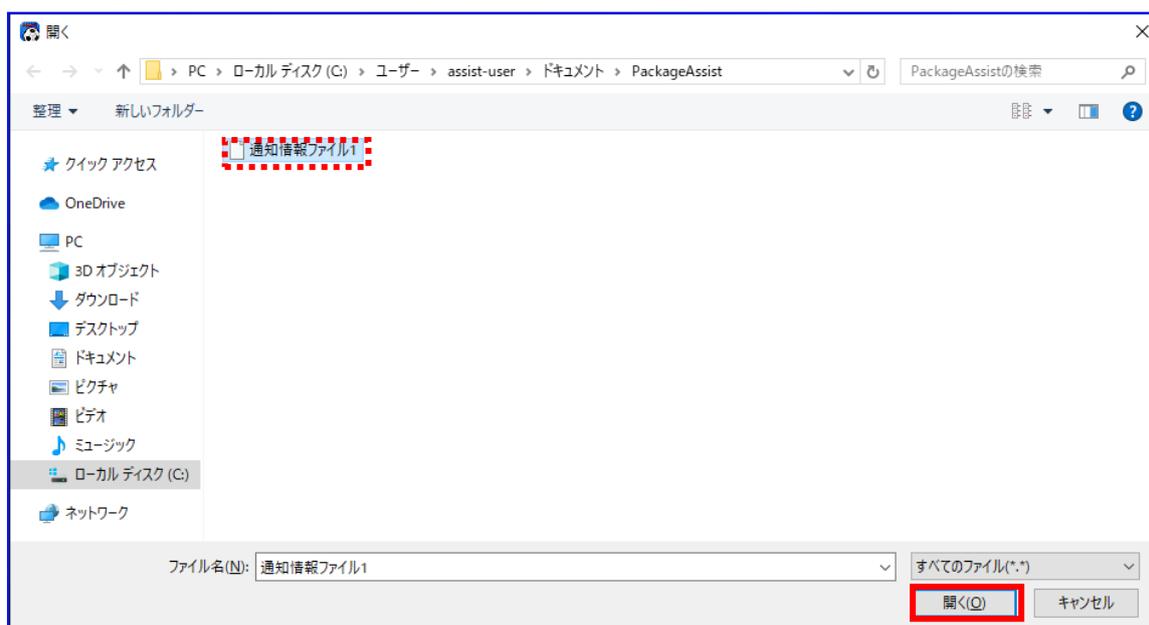


「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した場合、通知ファイルから発生・譲渡の受入情報のみを抽出した受入債権一覧を作成します。
読込んだ通知ファイルの権利者口座情報に、自身の口座情報（通知先情報の口座情報）が設定されている債権を抽出します。

- 電子記録債権取引システムより取得した通知ファイルを読み込みます。
[参照]を押下します。



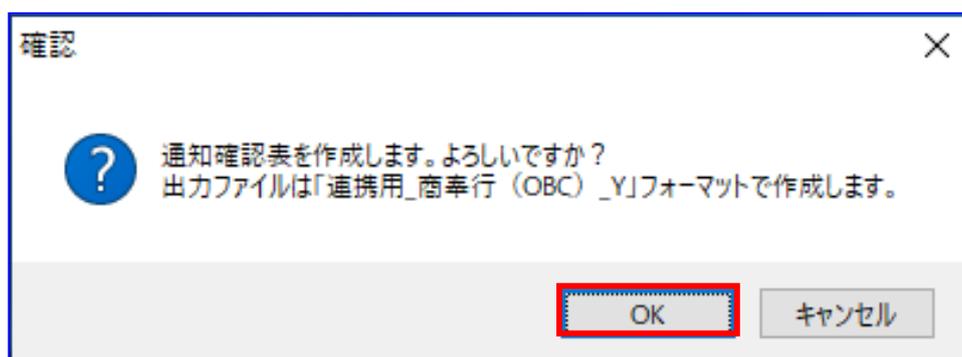
- [参照]を押下すると、ファイルを開くダイアログが表示されます。
内容を確認する通知ファイルを選択し、[開く]を押下します。



- ✦ 選択したファイルが対象ファイルに表示されます。
[読込実行]を押下します。



- ✦ [読込実行]を押下すると、確認ダイアログが表示されます。
よろしければ、[OK]を押下します。



「**2.2.3 出力 CSV 設定を設定する**」で設定した使用フォーマット名（上記ダイアログの例では「連携用_商奉行 (OBC) _Y」）が表示されます。

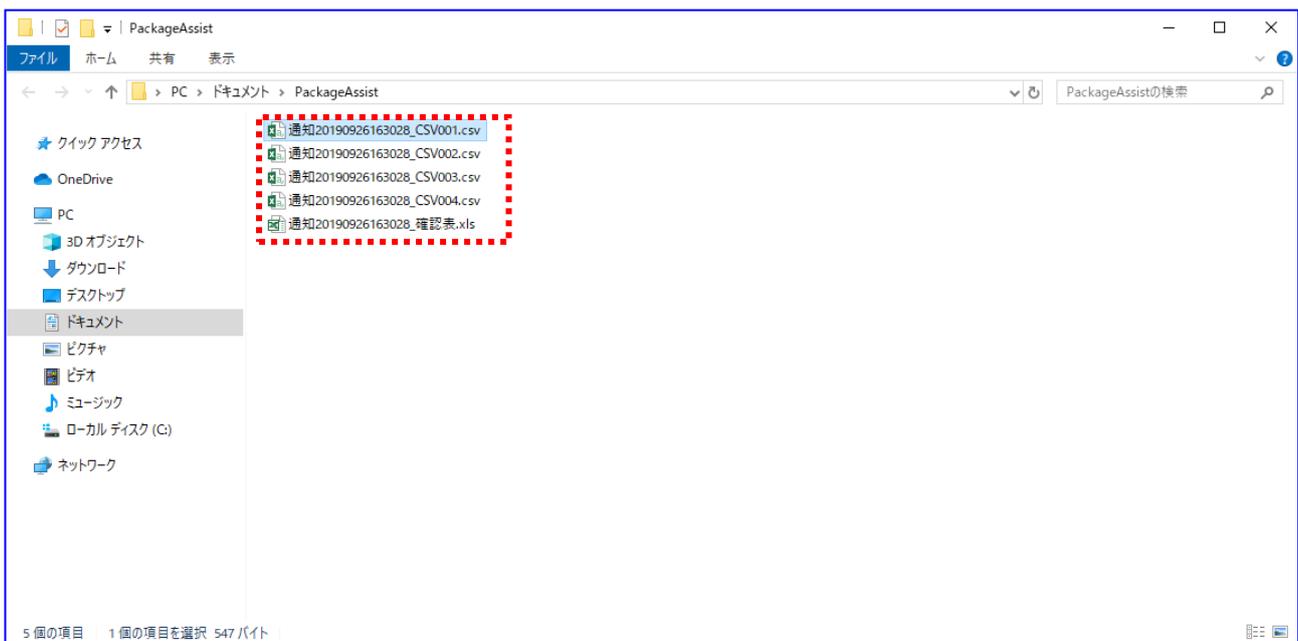


[OK]を押下後にエラーメッセージが表示される場合、トラブルシューティング「**2.1.10 連携エラー**」をご参照ください。

- 通知確認表の作成が完了すると、確認ダイアログが表示されます。作成した通知確認表の保存先を表示する場合、[OK]を押下します。



- 保存先フォルダが表示されるので、通知確認表、CSV ファイルが作成されていることを確認します。



通知確認表の作成時に出力されるファイルは下記の通りです。

通知確認表 : 通知 YYYYMMDDhhmmss_確認表.xls
CSV ファイル : 通知 YYYYMMDDhhmmss_CSVxxx.csv

3.1.2 通知情報を確認する

- 出力された通知確認表を開きます。
(通知確認表の詳細は、基本操作編「**6.2.8.1 通知確認表(概要)**」、「**6.2.8.2 通知確認表**」をご参照ください。)

通知確認表は、「概要シート」と「詳細シート」で構成されています。

- 「概要シート」には、各詳細シートにおける「出力ファイル」、「通知先情報」、「合計件数」、「合計金額」の一覧が出力されています。

例)通知確認表(概要シート)

通知確認表(概要)

出力日時: 2014/06/11 14:19:49

対象ファイル: 通知ファイル1

作成対象: 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)

予約通知(出力条件): 出力しない

No	シート名	出力ファイル	通知先利用者番号	通知先名	通知先口座情報				合計件数(件)	合計金額(円)		
1	通知確認表001	通知20140611141949_CS001.csv	A12345678	ツカサツツツ	0000	ツカサツツ	001	ツツ	2:当座	1110000	1	100,000
2	通知確認表002	通知20140611141949_CS002.csv	A12345678	ツカサツツツ	0000	ツカサツツ	001	ツツ	2:当座	1110000	2	200,000
3	通知確認表003	通知20140611141949_CS003.csv	A12345678	ツカサツツツ	0000	ツカサツツ	001	ツツ	2:当座	1110000	3	300,000
4	通知確認表004	通知20140611141949_CS004.csv	A12345678	ツカサツツツ	0000	ツカサツツ	001	ツツ	2:当座	1110000	4	400,000

通知確認表(概要) / 通知確認表001 / 通知確認表002 / 通知確認表003 / 通知確認表004

概要シート 詳細シート

- 「詳細シート」には、読込んだ通知ファイルの通知先口座情報ごとの詳細情報が出力されています。

例)通知確認表(詳細シート)

通知確認表001

出力日時: 2014/06/11 14:19:49

出力ファイル: 通知20140611141949_CS001.csv

作成対象: 受入債権一覧(発生・譲渡による受入)

No	区分	記録番号	債権金額(円)	電子記録年月日	支払期日	債務者名	権利者名	債務者口座情報				権利者口座情報				譲渡制限	依頼人 Ref.No.	取消区分
1	01:発生 (債務者請求)	12345678901234567890	100,000	2014/06/11	2014/06/27	債務者 ツカサツツツ	権利者 ツカサツツツ	0000	ツカサツツ	001	ツツ	1:普通	1111111	0:無	REF.NO.000001			
						債務者 ツカサツツツ	権利者 ツカサツツツ	0000	ツカサツツ	001	ツツ	2:当座	1110000					



「詳細シート」は、通知先口座情報（金融機関コード／支店コード／口座種別／口座番号）ごとに作成されます。

電子記録債権取引システムからダウンロードする際に、特定の通知先口座情報を指定した場合は、「詳細シート」が1つだけ作成されることになります。

出力ファイルも同様に、通知先口座情報の数だけ作成されます。



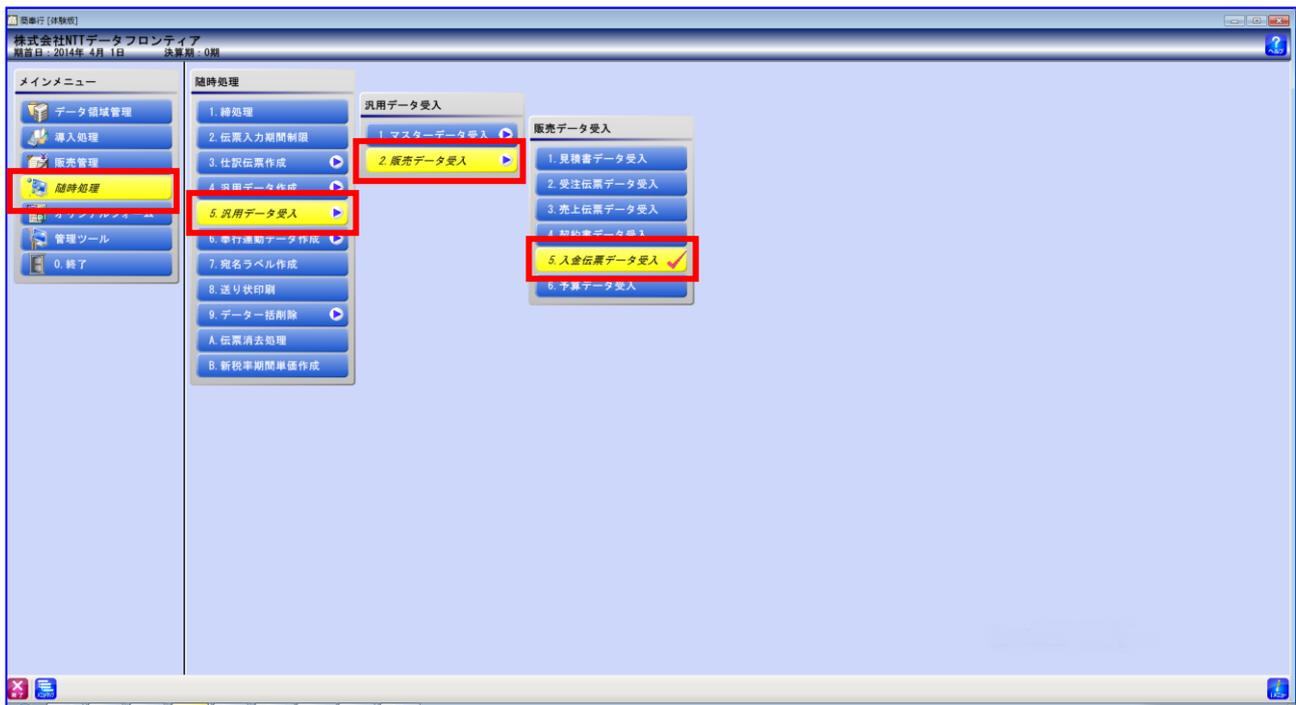
作成対象が「受入債権一覧（発生・譲渡による受入）」を選択した際は、条件に該当する債権が存在した通知先口座情報のみ詳細シートおよび出力ファイルが出力されます。

条件に該当する債権が存在しなかった通知先口座情報については、概要シートの「シート名」に「-（ハイフン）」が表示され、詳細シートおよび出力ファイルは出力されません。

3.1.3 入金伝票を作成する

「3.1.1 通知ファイルを読み込む」で作成した債権情報 CSV ファイルを「商奉行」で読み込み、入金伝票データを作成します。

「商奉行」を開き、[随時処理]>[汎用データ受入]>[販売データ受入]>[入金伝票データ受入]を押下します。



- ✦ [受入ファイル設定]の[参照]を押下し、受入元ファイル名に「**3.1.1 通知ファイルを読み込む**」で作成した債権情報 CSV ファイルを選択し、[受入開始]を押下します。（受入データ形式は「OBC 受入形式」を選択）

入金伝票データ受入 - 受入条件設定

受入ファイル設定 エラー情報設定

受入データ形式

[100] OBC受入形式 形式作成(S)...

詳細情報

区切文字 :
受入開始位置:

暦選択

西暦 和暦

受入元ファイル名

C:\Users\AssistUser\Documents\PackageAssist\通知020140611141949_CSV001.csv 参照(E)...

文字コード: Shift-JIS 変更(Q)...

OBCD001,DSRM007,DSRM001,DSRM002,DSRM003,DSRM004,DSRM005,DSRM006,DSRM008,DSRM201,DSRM203,DSRM20...
*, ,2014/06/11, ,0001, , , ,8, ,REF.NO.000001, , , , ,

[参照...] ボタンをクリックし、受け入れる汎用データのファイル名を指定します。
ファイル名を指定すると、汎用データの内容が表示されます。
注意 汎用データの内容が文字化けして表示される場合は、[変更...] ボタンをクリックし、文字コードを変更します。
詳細⇒[操作説明] ボタン

キャンセル
操作説明(H)

- すべての債権情報 CSV データが受入済になったことを確認し、[閉じる]を押下します。

入金伝票データ受入 - 受入結果確認

確認内容 印刷設定 プリンタ設定

汎用データ受入が終了しました。
受入結果を確認できます。

内容確認

<input checked="" type="radio"/> 受入済データ	入金伝票件数	1件
	ファイルの行数	1行
<input type="radio"/> 未受入データ	入金伝票件数	0件
	ファイルの行数	0行

未受入データになった場合は、未受入データの内容を出力し、未受入理由をご確認ください。
未受入理由を参考に、未受入データを修正し、再度受け入れてください。
詳細⇒[操作説明]ボタン

印刷(P)
プレビュー(I)
転送(E)...
閉じる(C)
操作説明(H)



「3.1.1 通知ファイルを読み込む」にて複数の債権情報 CSV ファイルが作成された場合、本項の処理を CSV ファイル数分繰り返して受入を行ってください。



未受入データに件数が表示されている場合、[プレビュー]を押下し、エラー内容を確認してください。
また、「2 連携事前設定」の設定が正しく行われているか確認してください。

- ✚ 入金伝票の内容を確認します。
[販売管理]>[入金処理]>[入金伝票]を押下します。



- 入金伝票の内容を確認し、問題がある場合は本画面より修正を行います。
(入金伝票の修正方法については「商奉行」の操作説明をご参照ください。)

【対象の使用フォーマット：連携用_商奉行（OBC）_Yの場合の例】

入金伝票

参照 売掛金 汎用受入にて作成 登録件数 10

入金日付 2014年 6月11日 伝票No. 9

請求先 0001 取引先A株式会社

部門

担当者

行区	入金内容	金額
1 8	会社銀行: 01 〇〇〇〇銀行 債権期日: 2014年 08月27日 記録番号: 12345678901234567890 REF.No.000001	100,000

通知ファイルの債権情報

銀行名:

支店名:

口座情報:

合計 100,000

区分 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手形 4.相殺 5.値引 6.信託債権 8.電子記録債権 9.その他

[登録 : 2014/06/25 12:31:38]

F1 操作説明 F2 F3 付箋 F4 前伝票 F5 次伝票 F6 複写 F7 削除 F8 F9 修正 F10 中止 F11 F12 閉じる

【対象の使用フォーマット：連携用_商奉行（OBC）_Nの場合の例】

入金伝票

参照	売掛金	汎用受入にて作成	登録件数	12
入金日付	2014年 06月11日	伝票No.	11	
請求先	0001			
	取引先A 株式会社			
部門				
担当者				

行	区	入金内容	金額
1	8	会社銀行： 01 〇〇〇〇銀行 債権期日： 2014年 08月27日 記録番号： 12345678901234567890	100,000

通知ファイルの債権情報

請求No.	
請求期間	自 年 月 日 至 年 月 日
前回請求額	
売上額	
入金額	
今回請求額	

銀行名：
支店名：
口座情報：

銀行名： 合計 100,000

区分 0.現金 1.小切手 2.銀行振込 3.手形 4.相殺 5.値引 6.信託債権 8.電子記録債権 9.その他

[登録： 2014/06/25 12:35:13]

[F1] 操作説明 [F2] [F3] 付箋 [F4] 前伝票 [F5] 次伝票 [F6] 複写 [F7] 削除 [F8] [F9] 修正 [F10] 中止 [F11] [F12] 閉じる

一括請求 Assist[®] Ver.3 操作マニュアル

連携編(商奉行)

2023年1月4日 第3.4版 発行

- ・本書の内容の一部あるいは全部(ソフトウェアおよびプログラムを含む)は、でんさいネット(全国銀行協会が提供する電子債権記録機関)を使用する目的に限り使用できるものとします。
 - ・なお、無断で複写・複製・転載・配布すること、および磁気または光記録媒体、コンピュータネットワーク上等へ入力することは、法律で認められた場合を除き、一括請求 Assist の著作者および販売者の権利の侵害となります。
 - ・本マニュアルに記載された内容、および本ソフトの仕様は改良のため、予告なく変更する場合があります。
-